

第 10 号 (令和 5 年 3 月 15 日 発行)

<第 10 号 TOPICS>

1. 新任教授・診療部長のご紹介
山口淳一 循環器内科 教授・基幹分野長
明石定子 乳腺外科 教授・基幹分野長
竹村洋典 総合診療科 教授・基幹分野長
林 基弘 脳神経外科 教授・定位放射線治療部門長
2. 医療機関専用 電話予約センター開設について
3. 医療連携アンケート結果報告
4. 第 7 回地域連携セミナー開催報告
5. 図書館の利用について
6. お知らせ

1. 新任教授のご紹介

山口 淳一 循環器内科 教授・基幹分野長



このたび、令和 4 年 4 月 28 日付けで循環器学内科教授・基幹分野長を拝命致しました。日本の循環器病治療を黎明期から支えてきた伝統ある診療科を担当させていただくこととなり、身が引き締まる思いであります。私は、心血管カテーテル治療分野を中心に研鑽を重ね、CCU 室長／カテーテル検査室長を経て 2018 年からは低侵襲心血管治療研究部門特任教授を拝命して、最新の重症弁膜症に対するカテーテル治療の立ち上げにも力を注ぎ、常に最新で質の高い医療を提供することに努めて参りました。今後も自身のカテーテル治療技術への向上心を持ち続けることに加え、一人の医師として、常に“困っている患者さんのサポートのために尽力する”という医療人として基本的な理念のもと、地域の先生と連携しながら、医局員一同およびメディカルスタッフとともに、優しさと思いやりを大切にした医療を提供したいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

循環器内科のホームページはこちらから → <https://twmu-cardiology.jp/>

明石 定子 乳腺外科 教授・基幹分野長



令和4年9月付けで乳腺外科教授・基幹分野長を拝命いたしました。何卒よろしくお願ひいたします。これまで国立がん研究センターで20年弱、その後昭和大学病院ブレストセンターで、乳房温存術のための画像診断や術前化学療法、遺伝性乳癌などを中心に乳癌診療一筋に研鑽してまいりました。乳癌は患者数の増加もさることながら、治療の進化は目覚ましく、術式も薬物療法も複雑化してまいりました。その中で本学の理念である「至誠と愛」を実践し、個々の患者さんにとって最適な治療の提供を目指してまいります。幸い当院

では化学療法の際に頭皮冷却で脱毛予防も可能です。また、令和2年から保険適応となった遺伝性乳癌に対しても、リスク低減手術も同時乳房再建まで含めて対応可能です。関連クリニックの皆様と緊密な連携関係を築きながら、乳癌患者さんの長いサバイバーシップを支える体制を発展させていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

乳腺外科のホームページはこちらから ⇒ https://www.twmu.ac.jp/hospital/breast_surgery/

竹村 洋典 総合診療科 教授・基幹分野長



自分たちでいろいろな病気を横断的に診るだけではなく、医療や保健、福祉の部門の力を借りつつ皆様をケアします。高度先進医療を提供しないことが多いですが、その包括的なケアや他の部門との連携を重視しています。場合によっては他の医療福祉施設などとの連携を配慮していきます。家族や地域を診る視点も重視しています。

取り扱うおもな疾患は、診断がつかない、または多くの疾患がある、多臓器に係るような疾患に罹っていらっしゃる患者さんで、専門診療

よりも当科がふさわしいと考えられる場合に診させていただいております。年齢や性別、臓器を問わず診療させていただいておりますが、高度で特殊な医療や治療は行えません。学生や若い先生の教育、そして総合診療に関わる研究に力を入れております。また診察においても皆様のご協力を仰ぐことも多々あるかもしれません。皆様のニーズに合った医療を心掛けつつ、少子高齢化する未来の日本に合致した医療を模索したいと考えております。



総合診療科のホームページはこちらから ⇒ <https://www.twmu.ac.jp/hospital/PCC/index.html>

林 基弘 脳神経外科学 教授・定位放射線治療部門長



大学卒業後 32 年間女子医大一筋で参り、この度脳神経外科学（定位放射線治療部門）教授を拝命することになりました。入局して間もなく、医師であり無二の幼馴染が手術不能な脳幹部脳動静脈奇形(AVM)出血にて命を落としました。ちょうどその頃、ガンマナイフが本学に導入。以後、治療技術向上に邁進して参りました。とくに若い AVM 患者さんは絶対に助けたい。その想いはさらに強くなり、今では匙を投げられた AVM のお子さんたちが国内外問わずいらっしゃるようになりました。11 年前自身心筋梗塞を患い、

患者を経験したからこそ患者の願いでもある「絶対に治します」という言葉を伝え治療にあたるようにして参りました。医療は人の痛みの上に成り立ち、その痛みを心から治し人生を取り戻すためにあることを知りました。是非、私たちに先生方の大事な患者さん治療を託してください。患者さんの想いや希望を見える形にして必ずお返しをさせていただきます。



脳神経外科のホームページはこちらから ⇒ <https://www.twmu.ac.jp/NIJ/>

2. 医療機関専用 電話予約センター開設について

このたび医療機関からの電話による診療予約につきまして、下記の通り医療機関専用の電話予約ダイヤル（電話予約センター）を新たに開設いたしました。これまで電話予約は地域連携室にて承っておりましたが、電話集中等により、つながりにくい状況が常態化し、関係機関の皆様には多大なるご迷惑をおかけしておりました。この状況を改善すべく新設いたしました電話予約ダイヤルは、従来の地域連携室とは切り離し、電話予約担当オペレーターが対応いたします。同時に各診療科の予約取得ルールの再整備も行い、診療予約をより円滑に取得できるようにいたしました。

つきましては、電話での患者様のご紹介に際しましては、医療機関専用電話予約ダイヤルをご活用いただければ幸いに存じます。なお、FAX および Web でのご予約は従来通り、地域連携室にて承りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



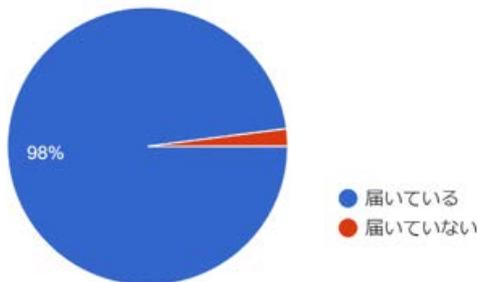
平日 9 時～16 時 30 分 土曜 9 時～12 時 30 分（第 3 除く）

3. 医療連携アンケート結果報告

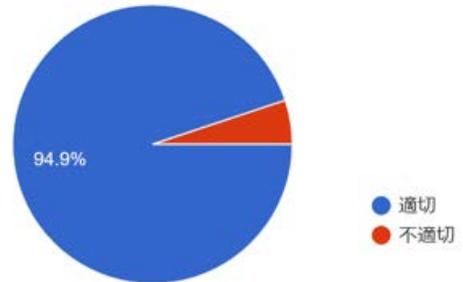
昨年11月に実施させていただいた東京女子医科大学病院医療連携アンケートの集計結果についてご報告いたします。調査期間は令和4年11月、調査対象は東京女子医科大学病院連携登録医ほか関係医療機関に対し、グーグルフォームによるWeb回答にて実施し、109件の回答をいただきました。ご回答いただきました先生方には、改めて感謝申し上げます。

調査項目は、紹介、予約に関すること、返書に関すること、医療連携講演会に関することについてお尋ねいたしました。ここでは一部抜粋してご紹介し、詳細につきましては病院ホームページをご参照ください。

問1-1 返書は届いていますか？

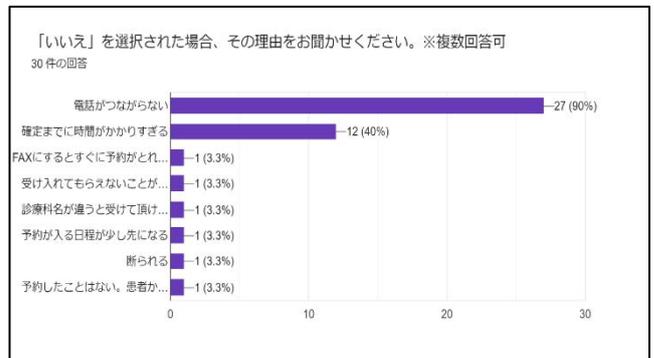
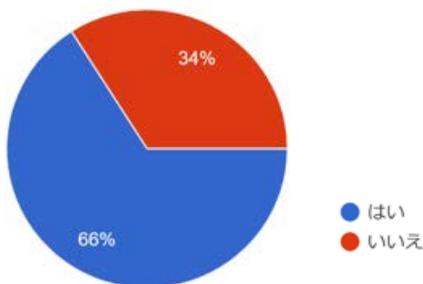


問1-2 返書の時期は適切でしたか？



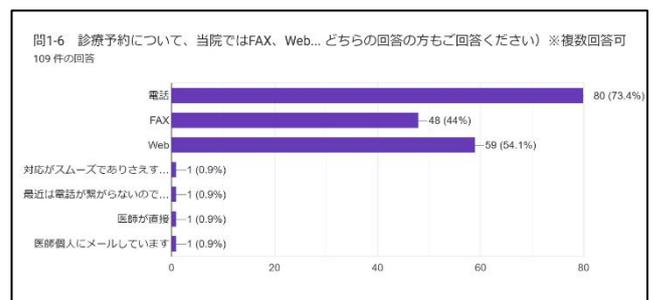
問1-2 返書の時期が不適切と回答した理由では、紹介状に対する返信の無い科が多い、他の病院では、まずは地域連携室、病院長からの受診報告のお手紙があり、その後各担当医からの返信が来ることが多い。受診したかどうかもわからずにいるよりずっと良い。などの意見がありました。

問1-4 診療予約はすぐに取りれましたか？



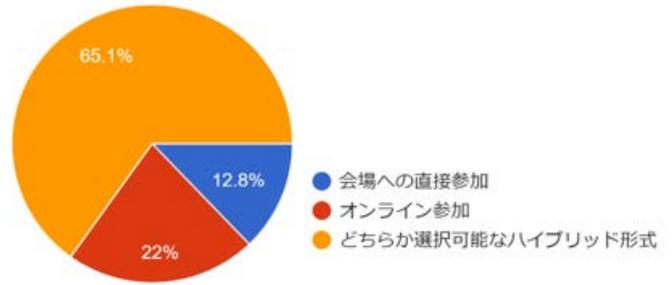
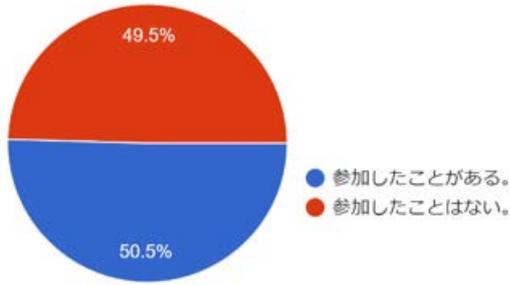
問1-4 診療予約がすぐに取りれましたか？に対し、いいえと回答された方の理由では、電話が繋がらない、確定までに時間がかかりすぎるが大半を占めていました。

また、問1-6の予約取得方法では、電話による診療予約を希望する回答が最も多く、その他全体のご意見においても、とにかく電話が繋がらないとの厳しいご意見を多数いただきました。予約電話の状況改善が喫緊の課題であることが改めて明確になりました。



問3 当院主催の「医療連携講演会・懇親会」について

問3-2 どのような開催形式であれば参加したいと思いますか？



当院主催の医療連携講演会についての質問において、問3-2の開催形式についての質問では、新型コロナウイルス感染状況に応じて会場参加とオンラインのどちらか選択可能なハイブリッド形式を希望する回答が65%という結果となりました。今後の感染状況を踏まえ、最適な方法を検討し、関係機関の皆様との意見交換ができる環境を提示できるよう、調整してまいりたいと思います。

その他、予約をはじめ各診療科や大学に対するものを含め、多くの貴重なご意見をいただきました。今回の結果を踏まえ、可能な限り改善を図り、よりスムーズな連携関係を構築できますよう尽力してまいります。今後とも忌憚のないご指導・ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

4. 第7回地域連携セミナー開催報告

令和5年3月2日（木）19時より、第7回地域連携セミナーを開催いたしました。今回は東京女子医科大学弥生記念講堂をメイン会場とし、Web同時配信とするハイブリッド形式といたしました。会場にも院内外含めて38名の方に来場いただき、Webからの参加者68名を合わせて106名の方にご参加いただきました。板橋病院長からの挨拶および当院の現状報告の後、乳腺外科の明石定子教授、脳神経外科の林基弘教授から講演いただきました。開催後のアンケート結果でも、大変良かった、よかったとのご意見を多数いただき、盛会となりました。また、今回初めてハイブリッド形式での開催といたしましたが、今後もハイブリッド形式での開催を希望するご意見も多数いただいております。会場、開催日時など、より多くの関係の皆様にご参加いただけるよう、検討・準備していきたく考えております。

次回の開催につきましては、詳細が決まり次第、改めてご案内させていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。

東京女子医科大学病院 第7回地域連携セミナー

日時 令和5年3月2日（木） 19:00~20:30
会場 東京女子医科大学 弥生記念講堂+Web配信予定 (ZOOM)

プログラム

司会 医療連携・入退院支援部運営副部長 佐藤 加代子

開会挨拶 19:00~19:10 東京女子医科大学病院 病院長 板橋 道明

講演1 19:10~19:40 「保険承認された遺伝性乳癌に対する最新のマネジメント」
乳腺外科学分野 教授 基幹分野長 明石 定子

講演2 19:40~20:10 「がん脳転移に対する”日帰り”脳神経外科手術：頭を切らずに人生を手術するガンマナイフ最新線」
脳神経外科学分野 教授 林 基弘

閉会挨拶 20:10~20:15 東京女子医科大学病院 副院長 田中 淳司

懇親交流会 20:15~20:30（予定）
※今後の感染状況等により中止とさせていただきます。

【申込み方法】下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。
<https://docs.google.com/forms/d/10InR2uoDn3p9S3jlnhW6vRl9a32m7J4h0D1284/edit>

【お問い合わせ】

- 東京女子医科大学病院 医療連携・入退院支援部 地域連携課
- メール: chikis@nkeslab@twmu.ac.jp
- FAX: 03-5269-7387 ● 直通電話: 03-5269-7160
- 締切: 令和5年2月24日（金）

本研修は、日本医師会生涯教育課の認定講習会です。受講により下記のカリキュラムコードの単位が取得できます。
コード: 0 (最新のトピックス) 0.5単位
4 (医師-患者関係とコミュニケーション) 0.5単位

会場、開催日時など、より多くの関係の皆様にご参加いただけるよう、検討・準備していきたく考えております。

5. 大学図書館の利用制限について

現在、新型コロナウイルス感染予防のため、引き続き外部の方の利用を制限させていただいており、連携登録医の先生方には、ご利用いただけない状況になっております。誠に恐れ入りますが、利用制限が解除になり次第、改めてご案内させていただきますので、ご理解・ご協力のほど何卒宜しくお願いいたします。

大学図書館の詳細はこちら → <http://www.twmu.ac.jp/library/>

6. お知らせ

「もっと地域とつながりたい!! 看護専門外来のご紹介」(Zoom 開催)のご案内

東京女子医科大学病院 看護スペシャリスト会「看護専門外来充実プロジェクト」主催で、専門性の高い看護師による看護専門外来の支援内容や最新のトピックスなどをリレー方式でご紹介するセミナーを開催しています。第3木曜日、17時～17時40分、毎回30名定員(先着順)、対象は訪問看護、訪問診療、介護支援専門員、医療機関等です。今後の開催予定など、詳細は添付のポスターをご参照ください。大変お忙しい時間帯とは存じますが、ぜひご参加いただければ幸いです。

次回予定：令和5年4月20日(木) 17時～17時40分
母性看護外来「育児期を見据えた妊娠期からの地域連携」

開催日	時間	対象	申込方法
3/16	17:00~17:40 第3木曜日	訪問看護、訪問診療、介護支援専門員、医療機関等	当日1週間前までにQRコードからお申込みください
3/16		感染症看護外来 「患者と自分の権利に配慮はあきらめず 自分や家族を守るための行動について 感染症看護の取り組み」	
4/20		母性看護外来 「育児期を見据えた妊娠期からの地域 連携」	
5/18		HIV/AIDS看護外来 「最新の最新HIV診療とHIV看護特 定の紹介」	
6/15		遠征外来 「子ども療養の紹介」	
7/20		VAD看護外来 「補助人工心臓患者の在宅療養から 在宅看護まで」	
8/17		がん看護外来 「がん患者さんの在宅ケア」	
9/21		WOC看護外来 「地域でストーリーを聞いている人の 力にになりたい」	
10/19		排泄ケア外来 「排泄療養のケア」	

外来診療担当表はこちら ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

Webでの予約申し込みはこちらから ↓

<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

FAX診療申込書はこちらをご使用ください。 ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/SW/reservation/reservation.html>

最後までお読みいただきありがとうございました。

※このメールマガジンの配信を希望されない場合は、お手数ですが下記地域連携室メールマガジン専用アドレスまでご連絡をお願いいたします。またご意見・ご要望などございましたら、あわせてご連絡いただければ幸いです。

地域連携室メールマガジン専用アドレス：chiikirenkei.bm@twmu.ac.jp

※当メールマガジン全文(添付ファイル含む)又は一部の無断転載および再配布・再配信を禁じます。

★★

東京女子医科大学病院

医療連携・入退院支援部 地域連携室

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

TEL：03-5269-7160（直通）

FAX：03-5269-7387（直通）

Mail：chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp（メールマガジン専用）

※ご意見・ご要望などはこちらからお願いいたします。

URL：<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html>

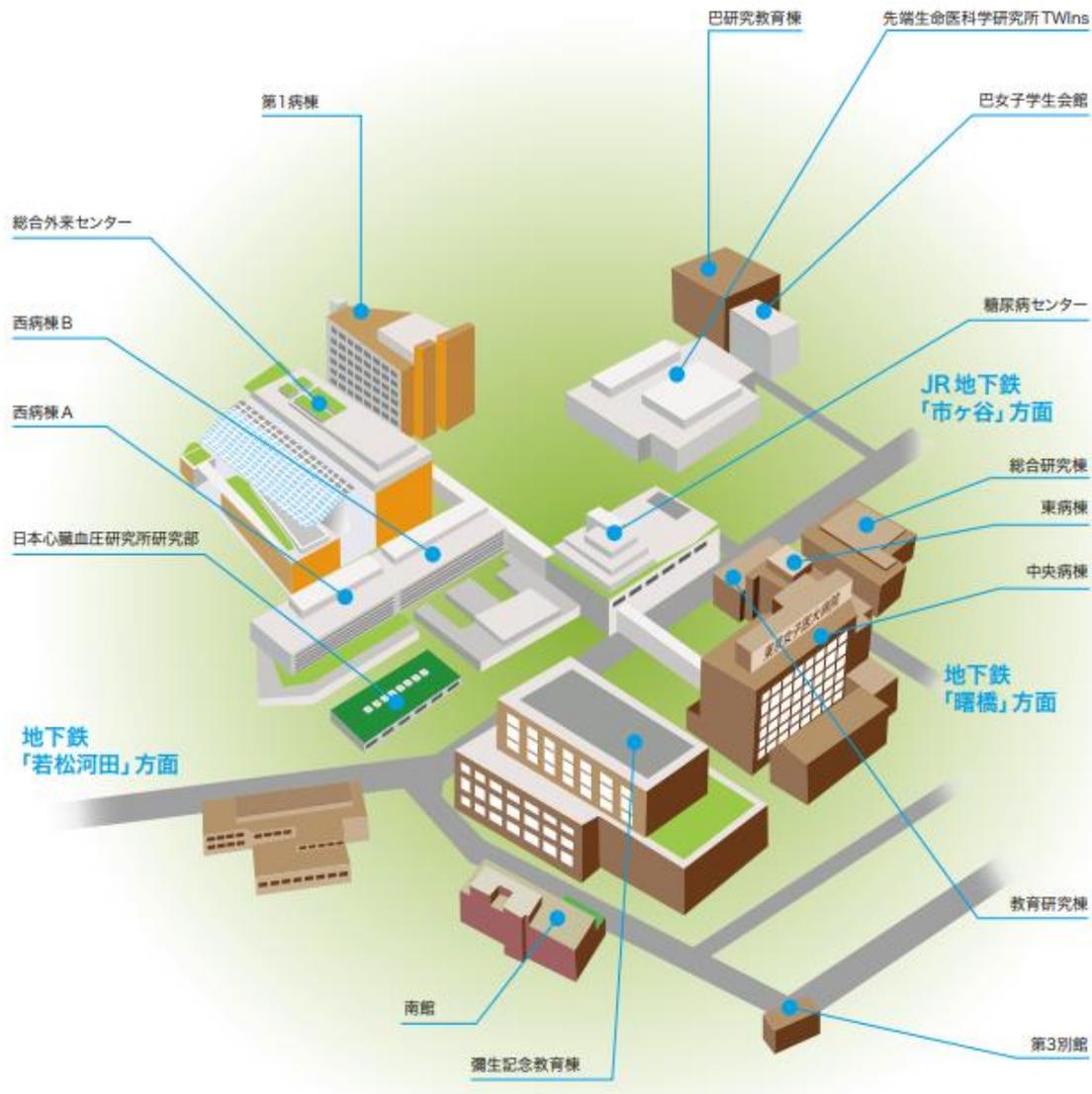
★電話での診療予約は、医療機関専用電話予約ダイヤルをご活用ください。

（医療機関専用）TEL：03-5269-7538

★患者様のご紹介はFAX・Webからも受付けています。ぜひご利用ください。

★★

構内見取図



ご案内図



○地下鉄

都営大江戸線 ②若松河田駅下車(若松口より徒歩約5分)

③牛込柳町駅下車(西口より徒歩約5分)

都営新宿線 ④曙橋駅下車(A2出口より徒歩約8分)

○都営バス

宿74系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前

宿75系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前←⑧四谷駅前←三宅坂

早81系統 早大正門→⑤馬場下町(早稲田駅)→東京女子医大前←⑥四谷三丁目←千駄ヶ谷駅前←原宿前←渋谷駅東口

高71系統 ⑦高田馬場駅前→東京女子医大前←⑨市ヶ谷駅前←九段下

もっと **地域**とつながりたい!!

看護専門外来のご紹介

専門性の高い看護師による看護専門外来の支援内容や最新のトピックスなどをリー方式でご紹介します

定員 毎回 30名 (先着順)

時間 17:00~17:40 第3木曜日

参加方法 **Zoom開催** 無料

対象 訪問看護、訪問診療、介護支援専門員、医療機関等

申込方法 当日1週間前までにQRコードからお申込みください



3/16

糖尿病看護外来

「患者さんの自己注射に心配はありませんか？」安全な自己注射に向けて新しい製剤や注射器の紹介をします
糖尿病看護認定看護師：土田・佐藤・坂口

7/20

VAD看護外来

「補助人工心臓患者の在宅療養から外来看護」心臓移植までの橋渡し治療です
VAD看護エキスパートナース：榊原

4/20

母性看護外来

「育児期を見据えた妊娠期からの地域連携」協働し母児の安全を確保しましょう
母性看護専門看護師・助産師：本末

8/17

がん看護外来

「がん患者さんの在宅ケア 私達にできることは何か？」当院には様々な専門性をもったがん領域の看護師がいます
がん看護専門看護師：花田 他

5/18

HIV/AIDS看護外来

「当院におけるHIV診療とHIV看護外来の紹介」当院のHIV診療と看護についてお伝えします
HIV/AIDS看護エキスパートナース：平山

9/21

WOC看護外来

「地域でストーマケアに困っている人の力になりたい」ストーマケアでお困りの方はぜひご聴講ください！
皮膚・排泄ケア認定看護師：下村

6/15

遺伝外来

「ゲノム診療科の紹介」当院で行われているゲノム医療についてお伝えします
遺伝看護エキスパートナース：佐藤

10/19

排尿ケア外来

「排尿障害へのケア」失禁への対応やカテーテルの最新の知識についてご案内します
皮膚・排泄ケア認定看護師：熊坂・寺村

*ゲノム=DNAの文字列に表れた遺伝情報すべて

申込みから当日までの流れ

1 申込み

申込みフォームから必要事項を入力して送信してください

2 申込み確認

送信控えのメールが自動で届きます

3 当日1週間前

参加案内メールと資料が届きます

4 当日

参加案内メール文中のリンクから参加してください